

令和4年10月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 10 月定例会

2 開 催 日 時

令和 4 年 10 月 12 日（水） 9 時 00 分開会 10 時 16 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者(委員)、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

小柳教育部長、佐藤教育総務課長、古賀学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、牛嶋生涯学習課長、日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事、立石学校給食課参事兼課長補佐兼学校給食センター係長、久家生涯学習課参事、長野学校教育課長補佐兼インクルーシブ教育推進係長、城島教育総務課総務係長、辻教育総務課教育支援係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長、大庭生涯学習課文化財担当係長

7 傍 聴

2 人

8 経 過 報 告

9 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

9 月定例会の議事録承認

【承認】

10 協議報告事項

- (1) 教育プランの進行管理について
- (2) 鳥栖市立小中学校の春季休業日の変更について
- (3) 卒業式及び入学式について
- (4) 小学校給食における金属片の混入について
- (5) 中学校給食の誤提供について

11 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

12 次回会議予定

教育委員会 11月定例会 令和4年11月9日（水）9時00分から

○佐々木教育長

ただいまより、教育委員会10月定例会を始めたいと思います。先日の10月1日に運動会が開催されまして、委員の皆様にはご出席いただきありがとうございました。いかがだったでしょうか。私にとっては実際に辞令をもらう前の運動会で不安な部分もあったのですが、今回の運動会地区の地元区長や来賓の方、地域住民にご挨拶することが出来ましたので、ある意味ウォーミングアップが出来た運動会だったかなと思っています。そして、こども達による開会の挨拶や一生懸命走っているこども達を先生や同じ学級のこども達が応援し、一緒になって喜んでいる姿を見た時に、学校における集団生活の良さをみんなで作り上げていこうとする気持ちを感じ、大事にしなければと思いました。運動会が終わった後も、バタバタと時間が過ぎて、本日は教育長として初めての定例会を迎えましたが、議事の進行で至らない部分があるかもしれませんので、皆様のご協力を頂ければと思います。それでは、ただいまから10月定例会を始めさせていただきます。まず、経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

ただいまの経過報告についてご質問ご意見等ありませんでしょうか。一般質問は多岐にわたって様々な質問が出ておりましたが、委員の皆様からご質問いかがでしょうか。無いようでしたらよろしいですか。はい、それでは、2. 議事録承認についてをお願いします。

○佐藤教育総務課長

議事録承認につきましては、前回の定例会分の発言について別冊にてまとめております。誤植等があれば事務局までに連絡をしていただくようお願いいたします。

○佐々木教育長

議事録について何かご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら次に進みます。3. 協議報告事項に入ります。まず、(1)教育プランの進行管理について説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○古賀学校教育課長

(資料に基づき説明)

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

(資料に基づき説明)

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

各課からの教育プランの進行についての報告でしたが、委員の皆様の方から何かご質問ご意見等ありませんでしょうか。

○大石委員

5番目の学校教育(環境整備)について教えていただきたいのですが、勤務時間の客観的把握について、具体的にどのような方法を実施していますか。

○古賀学校教育課長

まず、パソコンのエクセルデータ上で、全て管理することとしております。出勤と退勤時にそれぞれ打刻するという方法で、時間外勤務時間数の把握に努めているところでございます。

○大石委員

エクセルでの管理についても、ゆくゆくはもっと改善していくと思いますが、先生方には早く帰っていただけているのか1番気にしているところです。先生方がいろんなことをやらなければならないことを私も知っていますので、労働環境の改善をしていただき、本当に無駄な作業の棚卸しが出来ているのかどうか、大変危惧しております。帰った後も持ち帰って仕事などをしていないかが大変気になっておりますが、その辺はいかがでしょうか。

○古賀学校教育課長

今年度9月の校長研修会の折に、持ち帰って仕事をしている時間も含めて必ず入力してくださいというお願いをしたところでございます。そういったところで持ち帰り等までしっかりと、把握をしていきたいと考えているところです。

○佐々木教育長

私のほうから補足になりますが、先ほど13ページの特別支援教育について古賀学校教育課長のほうから研修等の説明がありました。古賀特別支援教育相談員による研修会等の実施や、学校の授業の指導案の検討から、特別支援の授業や自立活動の授業内容について各学校へ直接出向いて指導をしている状況です。先日、先生方と個別で話をさせてもらった際、「特別支援について理解することが出来た」、「自立活動について改めて知ることが出来た」などの感想をいただいております。特に若い先生方が、こういった研究授業等でスキルを高めたりすることが大事だと思いますので、ケース会議の問題も含めて、対応につなげていただければと思っています。

○古澤委員

2番目のいじめを防止するための取組みについてお尋ねですが、これは毎月の定例会の中でも、適宜ご報告はいただいております。いじめ問題を放置すると、そこから不登校に発展していき、大きな問題になる要素があります。いじめの懸念がある心配されるような案件がある場合、対応をどのようにされているのか教えてください。

○井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事

いじめ防止につきましては、学校が最も力を入れて取り組んでいることのひとつかと考えています。現在、いじめの認知数報告につきましては、問題行動等月別報告ということで、学校から上がってくるものを毎月集約し、県のほうへ提出しております。市の教育委員会が受ける詳細な報告としましては、こどもの欠席日数がある事案や、保護者と学校の関係が良好でないような事案、それから身体と財産に被害が及ぶような重大事態に関しては、詳細な報告書を持って教育委員会へ提出をするように求めています。令和4年度は現在、小学校から313件のいじめの実施数が報告をされています。中学校からは52件です。そのうち、報告書を要するものは小学校が3件、中学校は6件でございます。この件については、重大なものとして捉えないといけないと考えておりますので、教育委員会で精査をして学校への指導

を行い、県のほうにも報告書を提出しております。これに対し、県からどういう対処したのかなど、指摘や指導も入りますので、そういった形でいじめ問題に対応している次第です。

○古澤委員

非常に重要でかつデリケートな問題で、対応もしっかりとしなければならないというのは理解しております。先ほど、報告書を必要とする案件が小学校3件と中学校6件あるとおっしゃっていましたので、これからも継続的にしっかりと親身に対応していただけたらと思います。

○森田委員

10番のなかよし会関係についてお尋ねですが、夏季休暇中は勤労青少年ホームでなかよし会を臨時開設ということで、大体どれくらいの方が参加されたのか聞きたいのが1点と、改修工事を実施しているなかよし会があるみたいですが、そのこのども達の場所はちゃんと確保されているのをお伺いしたいです。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

夏季休暇中における勤労青少年ホームでのなかよし会臨時開設について、36名の方が参加をされたということで報告を受けております。それから、若葉小学校のなかよし会で改修を実施いたしておりますけれども、小学校の教室を一時お借りして、対応しているところでございます。

○森田委員

勤労青少年ホーム自体はあまり広くないイメージがありますが、体育館のような施設も使われたということでしょうか。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

勤労青少年ホーム体育施設も併設しておりますので、2階全ての部屋と体育施設を使わせていただいております。また、天気の良い日は社協横にある元町グラウンドなどで遊んだりして対応させていただいております。広さについては、十分確保出来たものと考えております。

○佐々木教育長

他にご質問ないでしょうか。無いようでしたら、次に移ります。(2)鳥栖市立小中学校の春季休業日の変更についてお願いします。

○古賀学校教育課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

春季休業日の変更について委員の皆様のほうからご質問等ないでしょうか。

○大石委員

大変良い取組みだと個人的には思っています。1点だけ気になるのが、単純に言えば1日多めに確保するという事なので、他のところにしわ寄せが行かないのか、授業のコマ数に影響がないのかを教えてください。

○古賀学校教育課長

現在のところでは、授業のコマ数を増やす予定はございません。これまで夏休みを短縮していることもあり、授業時数としては十分確保出来ることと検討した上で、1日確保したいところと考えているところです。

○佐々木教育長

1日の日に学校で担任発表があり、担任発表からこども達の名簿づくり、関係書類を作成し、事業準備に入っていく流れになりますので、この1日はすごく大きいものです。これまでも課題として残っていて、なかなか手がつけられなかったのですが、佐賀県内の教育委員会における総会にて、佐賀市教育長のほうからのご提案で、それぞれの市町で検討して、県内全体的に変更している自治体が多いような状況です。大石委員のご指摘のとおり、働き方改革として、一つの大きな手だてとなるのではとまっているところです。他の委員の皆様から何かご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら、次に(3)卒業式及び入学式について説明をお願いします。

○古賀学校教育課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

入学式卒業式について委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら、次に(4)小学校給食における金属片の混入についてと(5)中学校給食の誤提供について説明をお願いします。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

小学校給食中学校給食についての報告でしたが、委員の皆様から何かご質問等ありますでしょうか。

○戸田委員

小学校給食の事項につきまして質問させてください。幸いにして現時点では、健康被害等の報告がなくて本当によかったと思っております。ただ、過去にも似たような事故があったと記憶していて、どうしても作業の過程でこういうことが起こりうるものであると理解はしています。ただ、そうすると再発防止に注力をしなければいけないと思いますので、設備点検や目視確認も重要なことですが、今できるかどうかは別にして、新たに設備を追加して対応することは考えられないのでしょうか。例えば、金属探知機のような設備導入で防ぐことが出来ないものなのか、他にも検討されたことをお話しただけないのでしょうか。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

金属片の混入につきましては、今年度の5月6日に中学校給食で発生しております。中学校給食の金属片混入の事案については、どのような作業過程で混入したかというのは、ある程度特定出来た事案でございましたので、中学校給食の委託先事業者と一緒に改善を図ったところでございます。小学校給食については、給食センターの炊飯設備を委託先事業者が使用して調理していただいております。今回の小学校給食における金属片混入については、作業工程などを確認しましたが今のところはっきりと原因を特定できていないのが、非常に大きな問題と認識しております。学校給食センターが供用開始して8年という月日が経過していることがございますので、設備のメーカーなどと何回も打合せをしながら、原因特定に向けてしっかりと対応していきたいと考えているところでございます。それまでの間については、作業の手間が増える形になりますけれども、普段からの点検と炊き上がったご飯の目視確認を十分実施して、対応を図っているところでございます。金属

探知機につきましては、中学校給食の委託先事業者によって、導入されています。小学校給食につきましては、メーカーなどに聞き取りを行いながら対応を検討して行く必要があるのではないかと考えております。

○古澤委員

20ページの学校給食の誤提供についてお尋ねします。先ほどのご説明から、重々その重要性を認識されているのは分かりましたが、こういった事案は、児童生徒や保護者の方の学校給食に対する安全安心への揺らぎにもつながりかねません。学校給食は、おいしく、安全なものを提供するというのが基本と思います。最近は特に食物アレルギーをお持ちの児童生徒がいらっしゃるので、特段に配慮されていることは承知しておりますが、もっと大事に考えていかなければならないと思っています。特にこの商品については、こういう成分が含まれている又は含まれていないということを栄養士の方がチェックされていると思いますが、そういった中でも今回の誤った食材選びが実際に起きたわけですから、今後より一層気をつけていただきたいです。それと、学校給食課に限らず、ダブルチェックという観点から、調理する委託業者にも情報を共有して、相互にチェックし合えるような環境づくりが出来るよう今後も詰めていただければと思います。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

食材、献立を管理するシステムを使用して、献立の作成から発注までを実施しておりますので、そのシステムに入力されているデータについて再確認を行ったところです。発注をする際にも、栄養教諭や栄養士の確認と私ども事務も含めて確認できるような体制を今作っているところでございます。物資を納入していただく業者につきましても、定期的に協議をする場を設けておりますので、その中で情報共有をしながら連携出来るよう努めていきたいと考えているところでございます。

○古澤委員

今回の誤提供について、保護者への連絡も大変だったろうと思いますが、保護者の方からの大きなリアクションというのはなかったのでしょうか。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

保護者への説明に際しまして、数名の保護者の方からおしかりをいただきました。命に関わる問題でございますので、こちらも十分に反省して対応していきたいと考えているところでございます。食物アレルギーを持つ生徒の半分近くが病院の先生と相談されながら、例えば卵などを少しずつ取り入れることにご自宅でチャレンジしているというお話をいただきましたが、本来、食物アレルギー対応でありますので、学校給食では間違いは許されないと考えております。去年から今年の8月までの間で7回誤提供していたということを保護者へお話ししたところ、「動揺しましたが、今元気になっていますので」と言っていたのが、すごく心に残ったところです。

○佐々木教育長

他の委員の皆様からご質問ないでしょうか。

○大石委員

質問が重複するのですが、小中学校給食の提供については人の口に入るものなので、常日頃から細心の注意を払っていただいていると思いますので、大変感謝をしております。先ほど、対策の部分でお話があったと思うのですが、点検の部分に関

して言えば給食に限らず、長い間続けていくと案外雑になりがちになるので、その辺を踏まえて気をつけていただきたいと思います。また、点検したから大丈夫というわけではなくて、これも常々意識されていることだと思いますが、整理整頓、清潔清掃、更に言うならしつけまで、作業される方にはその辺りまで徹底していただきたいと思います。委託していることを言い訳にせず、しっかりと目を行き届かせて対応していただきたいと思います。また、アレルギーに関しては当然、命にかかわる部分ですので、保護者の方からのおしかりをいただき、対策の部分でダブルチェックという話が出ましたが、ダブルチェックというのは基本的に人が出来る最後のチェック方法だと思います。次に誤提供が発生したら、人を増やしてトリプルチェックはたまた4人チェックで対応するのでしょうか。それでは抜本的な対策になりませんので、今本当に人ができる最終段階ということを意識していただいて、検討していただけると大変ありがたいなと思います。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

まず、1点目の丁寧な点検を継続していくことについては、ご指摘のとおり、委託事業者だけに限らず、給食センターに係る職員すべてに通常作業における点検の必要性や重要性について理解し、あわせて事案が発生した場合は速やかな情報共有と再発防止に取り組むことの意識啓発を行っているところでございます。あと、ダブルチェックの部分についても雑にならないようにきちんと確認出来るような体制を整えていきたいと考えております。食材や献立を管理するシステムについても、もう少し改良できる余地がないか、そういった間違いが発生しないよう利用できないかを業者と話をさせていただいているところでございます。今後そういった間違いが起こらない環境を作りたいと考えているところでございます。

○大石委員

大変ご苦勞をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

○佐々木教育長

古澤委員からのご指摘のとおり、今回の件が安心への揺らぎにつながるということを、常に念頭に置きながら、今後対策に取り組むことがとても大事なことだと思います。また、犬丸課長が説明していましたが、給食の提供を受ける学校側の体制としても、やはり誤食や異物混入が発生しないように、安心安全というのを常に意識しながら、子ども達へ提供していかなければならないと思っています。そういう意味では、学校教育課のほうから校長や給食主任、栄養職員等を通して安心安全の徹底を図るように、指導をしていただきたいと思います。他にご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら、今後の予定について説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

今後の予定についてご質問等ないでしょうか。先日、各課からこれまでの経過を含めた引継ぎをしていただいて、そのとき感じたのは、本当に緻密な計画に基づいて、熱い思いを持って進めてくれていると感じました。時間は限られていますが、また次回の定例教育委員会にて、どんどん質問を出していただいて、より内容が深まって行ければと思います。これをもちまして、教育委員会10月定例会を終わります。皆さんお疲れさまでした。